



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉

2025年10月14日 第1238「週刊五十嵐レポート」

日本買い

10月4日付日経新聞、「電子部品M&A 海超える」という記事。

台湾電子部品大手の国巨(ヤゲオ)による温度センサー大手の芝浦電子のTOB(株式公開買い付け)が成立する見通し。台湾テック企業は電子部品の分野でのM&A(合併・買収)の発掘先として日本に狙いを定め、産業集積の勢いを強める。

ヤゲオ会長は言う、「芝浦電子のビジネスは日本企業向けが多い。ヤゲオの顧客は欧米やアジアに広く分散している。買収を通して世界への販路を提供できる」。強力な域内産業基盤と世界への販路を持つ台湾勢から見ると、技術を持ちながら製品の展開スピードに課題のある日本の電子部品メーカーとの補完関係は大きいと映る。

日本の電子部品業界には特定の領域で高い技術やシェアを持つ「ニッチトップ」企業が多い。資金力のある外資系企業にとって、これらの企業は割安に映る。上場している電子部品企業にはPBR(株価純資産倍率)が1倍を下回る企業が多い。PBR1倍以下の企業は、1. 成長が鈍化している。成長が期待できない。2. 経営効率が低い。3. 経営改革が遅れている。と評価される。日本で上場している電子部品メーカーのうち、PBR1倍以下は28社ほどある。第二の芝浦電子が出てくるかもしれない。

10月9日付日経新聞、「新生児3%が外国人」。日本で2024年に生まれた外国人が2万人に達し、新生児に占める割合が3%を超えた。24年末時点の残留外国人は約377万人で総人口の3%。すでに外国人の出生数が全体の10%を超えている自治体もある。生産年齢人口の急減が続く日本は外国人労働者の受け入れや定住者の増加は避けられない。

私の街の商店街に空き店舗ができると、その店舗に入るのは外国人。中国人、ベトナム人、ネパール人、バングラデシュ人など。日本人は少ない。土地を購入して、マンションや民泊を運営するのは中国人。

円ドル為替が1ドル150円前後の今。1ドル100円時代とは大きく変わった。

ちょっと
気になる出来事

10月7日付日経新聞、「経済教室」は「AIと雇用」。

2010年代からディープラーニング(深層学習)実用化に伴う第3次人工知能(AI)ブームも落ち着きを見せつつあった22年11月、米オープンAIの生成AI「チャットGPT」は世界を劇的に変えた。今や生成AIを活用しないと競争に負ける。

ビジネスにおけるAI活用の主たる目的は「作業の効率化」。文書の要約や間違い探しといった面倒な作業をAIに任せる。人間はより創造的で感性が求められるような「人間がやるべき仕事」に集中できるようになる。

AIの能力は高く、効率化によるコストカット効果は絶大。誰がAIを使っても一定の効果が出せる。

しかし、AI導入にはコストがかかる。大企業なら導入も進みやすい。中小企業では簡単に導入できるとは限らない。AI活用の恩恵を受けることは困難。一見すると、大企業と中小企業の格差が広がることを意味する。

中小企業はIT導入でも格差はある。更にAIでも差が広がるのか。出来る所からAIと付き合っていく。



一口メモ
知識

人に仕えるということ その4

以前、定公(ていこう)様が

「君主が家来を使い、家来が君主に仕えるにはどうしたらよいものか」とお訊(たず)ねになったことがあるんだよ。

そこで、

「上の者が下の者を使う時には、間に礼儀作法をおきます。

下の者が上の者に仕える時には、間に道徳をおきます」とお答えしたよ。

そうすれば、上の者は空威張りをせずすむし、

下の者は上役の悪事にイヤイヤ荷担(かたん)させられずにすむだろう。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

